

非マスメディア雑誌から

きんよつごぶんか



週刊金曜日 2007.12.7 (682号)

A4判 Bページ ヒューマンライツ・ナウ
〒110-0015東京都台東区東上野1-20-6丸幸ビル3階
TEL03-3835-2110 FAX03-3834-2406

『Human Rights Now』 Vol.3ビルマ(ミャンマー)に平和を! 2007.10

info@ngo-hrn.org http://www.ngo-hrn.org/

政治犯への悲惨な人権侵害 元政治囚による証言

政治犯に対する身体拘束・拷問の実態を聞き取るため「政治囚支援協会」(AARP)のスタッフで、元政治囚の二名と懇談した。

Aさんは、二三歳だった一九九三年、軍政を批判するパンフレットを出して逮捕されて以来、一二年間拘束された。政治犯に弁護士がつくことは許されず、軍政を助けた裁判官の聞く特別法廷でたぐさんの尋問が繰り返されたが、弁護の余地はなかったという。逮捕後は閉じこめをさせられ、昼夜もわからない生活が続いた。その状態で長時間暴行を受けることもあった。Bさんも、このような暴行を受けた結果、片耳が聴えなくなった。また、刑務所内では(監)送服的に男性を女性の名で呼んで屈辱感を与えたり、故郷と離れた刑務所に移して長期回覧施設を囁かせたりといった精神的ダメージを与えるという。